

「小さな世話やき」から、初めての大きな幸せに、
「縁むすびさん」登録100人突破 & 一組婚約成立

昨年7月から開始した市登録制の仲人ボランティア「縁むすびさん」が100人を突破しました。

この事業は、本市主催の登録セミナーを受講した縁むすびさんが、知り合いなどの結婚希望者のプロフィール資料（匿名）を持ち寄り、それらを

基にお見合いの設定や実際のサポートを行うものです。

現在、20歳代から80歳代までの105人の縁むすびさん

が活動中で、昨年末には、第一号となる婚約の成立もありました。この2人は、8月のお見合い後、交際を順調に進め11月にプロポーズ。縁むすびさんも驚くほどのトントン拍子でした。また、この他にも9組のカップルが交際中です。



▲月に一回情報交換を行う「縁結び会議」

「高校卒業から7年。仲間と豊岡の良さを再認識」
本市で初めての試み「豊岡市25歳同窓会」開催

12月30日、市内の高校等を卒業した若者が集う「豊岡市25歳同窓会」を市内の結婚式場で開催しました。国の調査では、就職して数年が経つ25歳の年代は、離職率が3割を超えています。この同窓会は、

25歳で作る実行委員会と本市、但馬県民局が主催。昨年7月から会議を重ね準備を行い、同窓生に向けSNS等で「豊岡の魅力」の発信も行ってきました。当日は、市内外から参加した174人の若者が、同級生との再会や、新たな出会いを楽しみました。



▲同窓会に集まった多くの仲間たち

豊岡市
「オリジナル婚姻届」作成

新たに

夫婦となる

方に、地域愛

を育んでもら

うため、6地

域の風景（豊岡

稽古堂、城崎温

泉、竹野海岸、神

鍋高原、辰鼓楼、

チューリップ）を

デザインしたオリ

ジナル婚姻届を作

成しました。

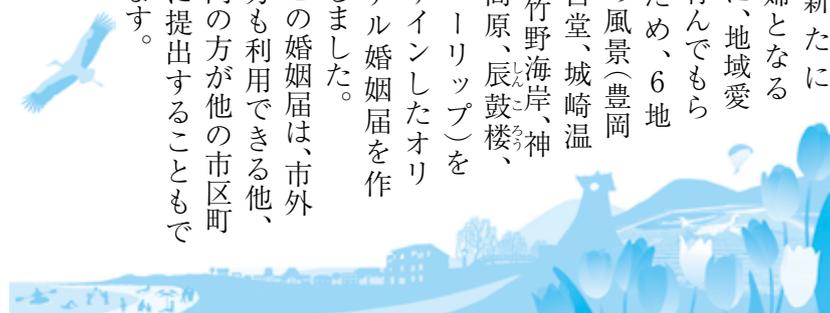
この婚姻届は、市外

の方も利用できる他、

市内の方が他の市区町

村に提出することもで

きます。



「主な市政の動き」

【12月】

14日・東京2020オリンピック「学ぶ講演会」

20日・Uターン就職向け「豊岡就活」就活応援ブック

2019」発行

21日・平成29年豊岡市政10大ニュース発表

23日・「トヨオカ・ウーマン・チャレンジ」開催

26日・豊岡市市政経営方針（第1版）策定

28日・市役所仕事納め式

29日・消防団年末特別警戒（30日）

30日・豊岡市25歳同窓会

1日・専門職大学開設準備に伴い職員2人を県に派遣

4日・市役所仕事始め式

豊岡市賀詞交換会

5日・城崎消防団出初式（7日・豊岡・竹野・但東、8日・出石）

豊岡市「オリジナル婚姻届」作成

7日・豊岡市成人式

- 【配布場所】
- 市民課および各振興局市
- 民福祉課（執務事間外は宿
- 日直室）
- 市内の結婚式場など
- 【問合せ】
- 市民課 ☎ 21-9015

平成30年度 城崎国際アートセンター アーティスト・イン・レジデンスプログラム決定!

城崎国際アートセンター

(K I A C)は、年間を通して国内外から、演劇やダンスのアーティストが滞在し、創作活動を行うアーティスト・イン・レジデンスの施設です。平成30年度に創作活動を行うアーティストが決定しました。応募件数は、世界25カ国から94件。本年度と比較して倍増しています。K I A Cの事業や活動が、国際的に、さらに評価・認知されていることがうかがえます。

平成30年度の滞在制作アーティストは、ダンス9組、演劇8組、音楽1組、その他1組の計19組です。

アーティストの滞在期間中には、稽古場の公開や、制作途中の作品試演会、アーティストによるトークショーなど、市民との交流プログラムを無料で実施します。

さらに、滞在アーティストが市内の小・中学校に出張し、ダンスのワークショップを行うなど、子どもたちとの交流も行います。

【注目のアーティスト】

舞踏家の目黒大路めくろだいちによる、**『妖怪シヨー!!』**は、公演回数が100回を超え、子どもから大人まで楽しめる夏にぴったりの演目。



糸びす大黒座『妖怪シヨー!!』第一弾
©HANDSAM

平成28年に演劇界の芥川賞といわれる岸田國士戯曲賞を受賞した劇作家・演出家タニノクロウ主宰の**庭劇団ベニノ**による『笑顔の砦』は、田舎の漁村にあるアパートの住人たちの人情ドラマ。

舞台映像作家の山田晋平やまだしんへいらは、北但大震災以降に建設された豊岡市街の復興建築群等を巡るツアー・パフォーマンスを創作。作曲家の野村誠のむらまことらのユニット**日本相撲聞芸術**

作曲家協議会(JACSHA)は、国の選択無形民俗文化財に指定されている養父市の「ネットイ相撲」をリサーチし、相撲を題材にしたオペラを創作。豊岡市や但馬地方の文化資源を積極的にリサーチし、現代の舞台芸術と地域文化を緩やかに結びます。

台湾のダンスカンパニーHORSER主宰のウーカン・チェンと、タイの古典舞踊とコンテンポラリーダンスを融合した作品で国際的に活躍するピチエ・クランチェンの協働プロジェクトや、2003年、2006年にベッシー賞(NYダンスパフォーマンスアワード最優秀振付賞)を受賞した余越保子よこほりによる能「山姥」を題材にした新作も見逃せません。



庭劇団ベニノ『笑顔の砦』 ©田中亜紀

中貝市長の徒然日記 (123)

女性たちとのバトル顛末記

昨年末、Uターンに関するFMジャングルの番組収録で、立て続けに対談をしました。「若い女性たちと市長の徹底討論!」という触れ込みです。

一度目は、日高高校看護専攻科1年の女子生徒5人とでした。司会からは、「事前の調査では全員、卒業後豊岡で暮らす気はない、とのことですよ」

バトル!となるはずでしたが、始まってみると「私、豊岡病院に勤めたいです。絶対豊岡を離れません」という生徒。「一度は外に出たいけど、Uターンもありです」という生徒。もちろん「外に出ます。帰ってくる気はありません」という生徒もありました。

うれしかったのは、全員が「豊岡が大好き」と言ってくれたことでした。故郷に対する柔らかな穏やかな感性に、市長は感激するのみでありました。

二度目は、市外で暮らす25歳の女性5人とでした。「全員

帰ってくる気はなさそうです。前回と違って、今回はかなり手強いですよ」

FMジャングルの狭いスタジオの中で、5対1のゴンダが静かに鳴りました。が、驚きました。皆が「豊岡大好き!」と言うのです。「田舎は行動が近所に筒抜けで、息苦しくて嫌ってことはない?」と尋ねると、「えー?そのつながりがいいのに!」「おお!」

「岡山で伴侶を得たので、もう、ちょっと無理です」という人も。1人、来年帰ってくるかと決めて先日両親に伝え、という女性がいました。「京都に7年いて、もうこれ以上いる理由がないので」「最初Uターンの可能性は5%と言いましたが、市長の豊岡の話聞いて、15%になりました」という女性もありました。「おお、急上昇!」

その夜、豊岡市主催の「25歳同窓会」が開かれました。先ほどの女性たちにビールをつくと「わーい、市長にいいでもらった」と喜んでくれました。喜んだのは、ぼくのほうです。故郷は、いつまでもこの地で、皆さんの故郷です。

2~3 広告募集

4~5 市政ニュース

6~19 クローズアップ
豊岡

20~25

くらしの情報

26~27

保健行事

28~29

図書館・つどいの広場

30~31

主な相談・主な行事